

# NHK

## 月刊みなさまの声 2021年12月



### <目次>

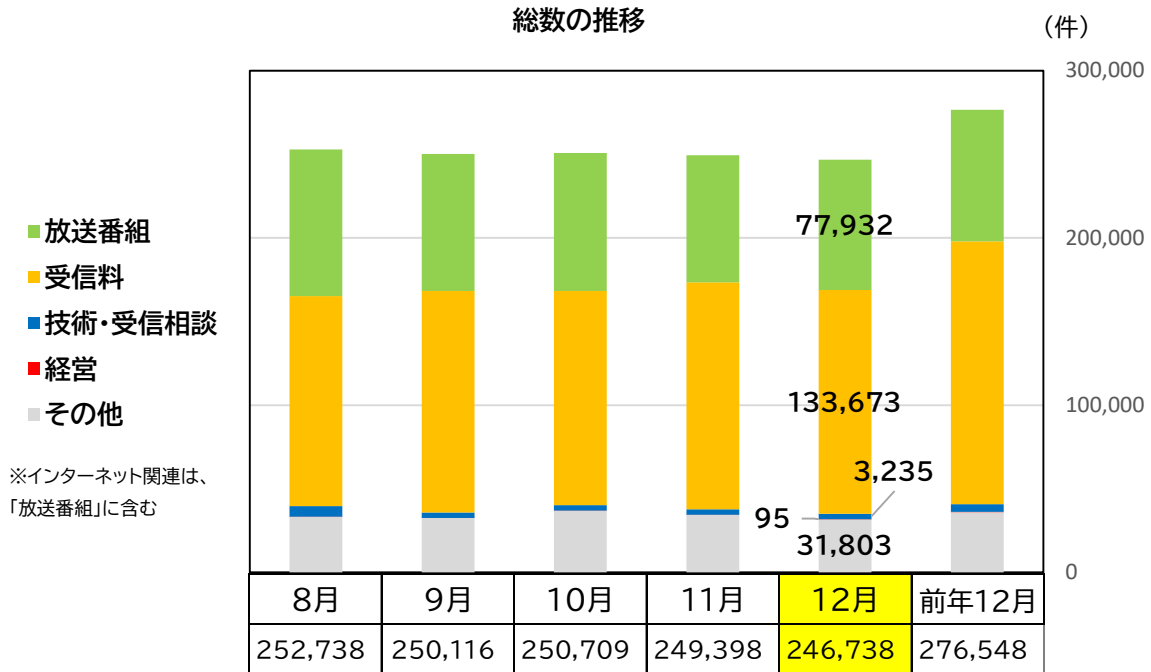
1. 視聴者の声の総数と内訳 .....	2
2. 放送番組への意見と対応 .....	3
3. 受信料への意見 .....	5
4. 技術・受信相談への意見 .....	5
5. 経営への意見 .....	5
6. インターネット活用業務への声 .....	5
7. 反響の多かった番組から .....	6
[参考データ] .....	15

広報局視聴者部

# 1. 視聴者の声の総数と内訳

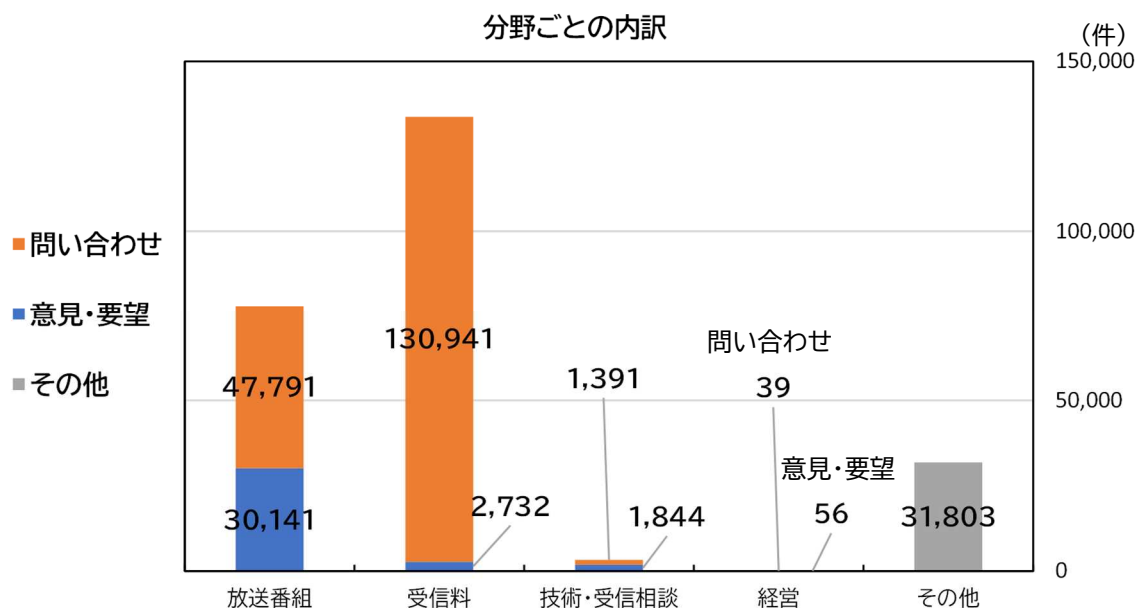
## ■総数の推移と内訳

12月にNHKに寄せられた視聴者の声の総数は246,738件で、前月よりも2,660件減少し、前年同月より29,810件少なくなっています。分野別の内訳は、「受信料」に関するものが最も多く、次いで「放送番組」「その他」などとなっています。



## ■分野ごとの内訳

放送番組に関する声のうち、放送日や出演者などに関するお問い合わせが47,791件で61.3%。番組内容や演出などに関する意見・要望が30,141件で38.7%でした。また受信料に関する声のうち、料金や手続きに関するお問い合わせが130,941件で98%を占め、意見・要望は2%にあたる2,732件でした。



いただいたお問い合わせや意見・要望に対しては、あらかじめ準備した資料などをもとに、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口でお答えしたほか、内容によっては番組制作の担当部局などと連携して対応を完了しています。

## 2. 放送・番組への意見と対応

放送や番組に寄せられた視聴者の声は77,932件、このうち番組に対する意見は30,141件で、分類すると好評意見が33.5%、厳しい意見は66.5%でした。

また声をもとに確認し、対応した事例は、テロップのミスや誤読などで57件(11月は48件)、ホームページの関係は21件(11月は19件)でした。名前の漢字の読み間違いや、レシピを紹介するホームページでの材料の記載ミスなどで、放送内で訂正したり、ホームページの誤りを修正したりしました。

SDGsへのNHKの取り組みを求める声に配慮した「NHK紅白歌合戦」での取り組みと、それに対する反響についてご紹介します。

### ■“処分されていたはずだった花”をいかした「紅白歌合戦 花のステージ」

「Colorful～カラフル～」をテーマに、多様な価値観を認め合おうとの思いも込められた第72回NHK紅白歌合戦。なかでもひととき目をひいたのがステージに飾られた数多くの花たち。大みそかの舞台を盛り上げた「花のステージ」を紹介します。



#### 【視聴者から寄せられた声】

- ・ 最近テレビでSDGsという聞き慣れない言葉を頻繁に聞く。重要な問題だと感じるのでNHKには積極的に取り上げてもらいたい。(70歳以上男性)
- ・ 環境問題やSDGsのように大きな視点が求められる今こそ、NHKのコンテンツに期待している人は多いのではないだろうか。(年代不明)



NHKでは多くのSDGs関連番組を放送、また、既存の番組のなかでも環境に配慮した取り組みなどを積極的に取り上げています。



また、番組制作の現場でもリサイクル品の活用や、使用電力の削減など地球環境に配慮した取り組みを重ねています。



第72回NHK紅白歌合戦のステージには、フラワーアーティストの東信(あずままこと)さんの監修で多くの生花が華やかに飾られ、出場歌手たちの歌唱をカラフルに盛り上げました。花の一部は年末の東京・大田市場で最終営業日に残ったもので、「通常なら処分されるはずだった花」が紅白歌合戦の舞台を彩りました。



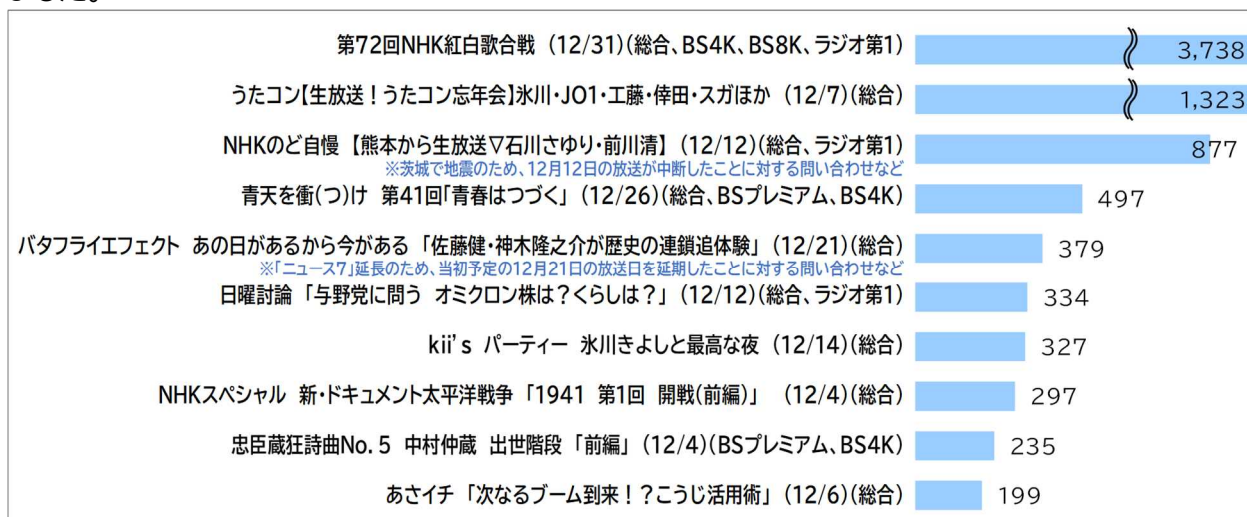
## 【視聴者から寄せられた声】

- ・ 紅白を見て元気が出た。なかでも、ステージに使われていた生の花が、とてもキレイですばらしかった。 (30代女性)
- ・ ゆずが歌っているときの花のコスチュームがすてきだった。見た目もカラフル、心もカラフル。新しい年を、楽しい気分で迎えられる気がする。 (60代女性)

SDGsへの取り組みを求める声が高まる中、NHKは今後もコンテンツ制作をはじめ、環境に配慮した事業運営に取り組み、さまざまな形で環境を守る取り組みについて発信していきます。

## ■12月 反響の多かった番組

「第72回NHK紅白歌合戦」に多くの声が寄せられたほか、「うたコン」の出演者への好評意見や、地震の影響で放送が中断した「NHKのど自慢」、「ニュース7」の延長で放送日が変わった「バタフライエフェクト あの日があるから今がある」などについて、放送予定の問い合わせや意見が多く寄せられました。



### 3. 受信料への意見

受信料に関して、12月は133,673件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち98%が問い合わせで、受信料の金額についての問い合わせや、引っ越しに伴う手続きなどについてでした。いただいたお問い合わせに対しては、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口でお答えしました。

営業ホームページ「NHK受信料の窓口」に、お問い合わせの多い受信料制度の意義やNHKの事業内容などについて紹介するページを設けています。このページでは、視聴者のみなさまに受信料制度への理解を深めていただくため、受信料制度だからこぞできるさまざまな取り組みや、提供できる公共的価値について紹介しています。「NHK受信料の窓口」では受信契約に関するほとんどの手続きが24時間可能で、積極的な利用をお勧めしています。

### 4. 技術・受信相談への意見

技術・受信相談に関して、12月は3,235件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち、ふれあいセンター(受信相談)および各放送局の受信窓口では2,696件を受け付けました。内訳は、映像が受信できないなどの申し出が1,973件、受信方法やテレビのリモコンの操作方法などの技術相談が723件でした。12月は、雪の多かった地域で、アンテナへの着雪によって地上デジタル放送やBSの受信状況が悪化したことに関する相談がおよそ80件寄せられました。

### 5. 経営への意見

NHKの経営に関して、12月は95件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち、ふれあいセンター(放送)で受け付けた意見や問い合わせは45件でした。内訳は、「不祥事」関連が16件、「公共放送について」が11件などでした。「不祥事」については、「関連団体社員懲戒処分」などに関する意見が、「公共放送について」では、「受信料制度」に関する意見などが寄せられました。

### 6. インターネット活用業務への声

12月にふれあいセンターや全国の放送局に寄せられた視聴者の声のうち、インターネット活用業務についてのものは12,370件、そのうち85%が「NHKプラス」についてでした。12月は、「NHK紅白歌合戦」に関連して、登録方法についての問い合わせが7,000件以上寄せられました。このほか、「NHKプラス」を利用する耳の不自由な方から、「字幕の枠外表示機能のおかげで、字幕が映像に重ならずに番組が楽しめる。大いに感謝したい」という声が寄せられました。

## 7. 反響の多かった番組から

### ■第72回NHK紅白歌合戦

「Colorful～カラフル～」

12月31日(金)

総合、BS4K、BS8K、ラジオ第1

後7:30～11:45(ニュースによる中断あり)

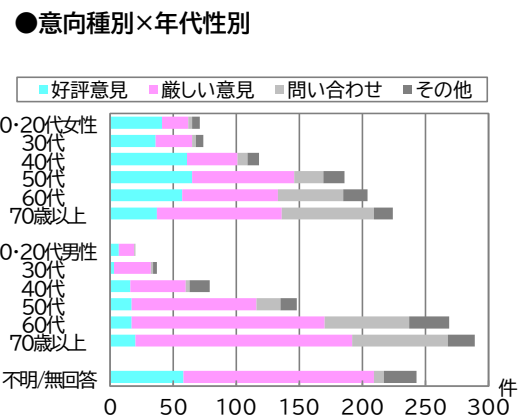
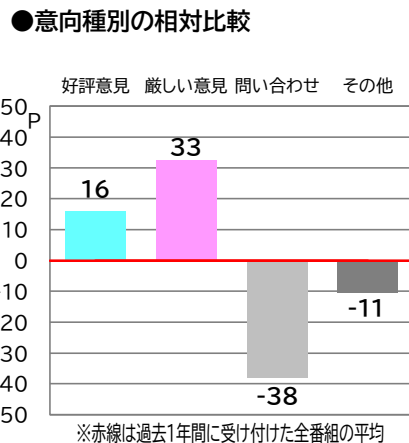
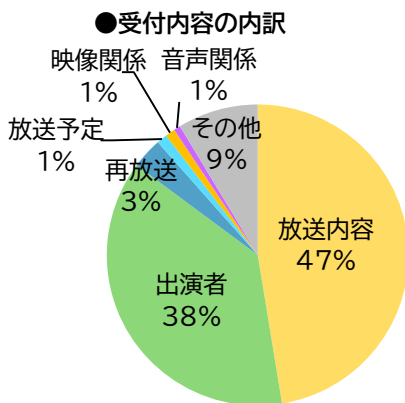
反響 計1,962件

※12月31日放送開始～1月6日で集計

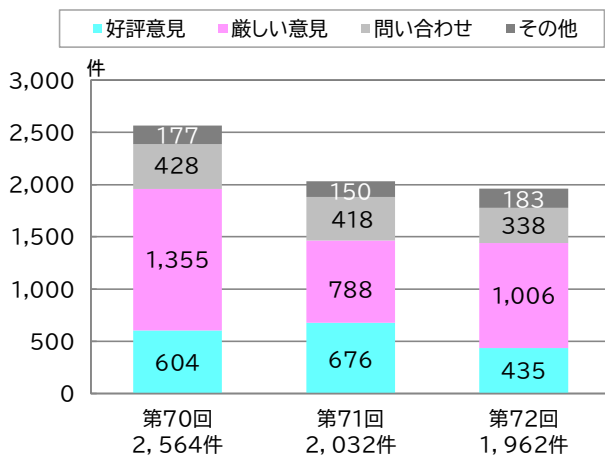
(好評意見435件、厳しい意見1,006件、問い合わせ338件、その他の意見183件)



“コロナ禍が続く世の中を少しでも彩りたい。そして、あらゆる色が集い、重なり合い、称え合い、多様な価値観を認め合いながらすてきな大みそかを彩る” こうした思いが込められた「カラフル」がテーマとなった第72回NHK紅白歌合戦は、改修工事中のNHKホールから東京国際フォーラムに会場を移して行われました。2年ぶりの有観客での開催に、「これでこそ紅白だ」という声や、4ページでご紹介したように、鮮やかな花で彩られたステージへの好評意見などが寄せられた一方、「出演者のベテラン・若手のバランスを考慮してほしい」、「長時間の番組なので、きちんとフルコーラスで歌を聴きたい」という声や、「紅白に分かれての男女対抗」という枠組みについてのさまざまな意見などが寄せられました。



●第70回～72回の視聴者意向比較



※12月31日放送開始から1月6日で集計  
 ※放送開始時刻は、第70回まで午後7時15分、  
 第71回から午後7時30分

## 【主な内容】

## ○番組全般、演出など

- ・ 久しぶりに見たらすごく変わった。よい方向に変わったと思う。東京国際フォーラムのステージは新鮮だ。臨場感ある映像で、迫力がある。華やかな感じで好感を持った。(50代男性)
- ・ 今までのNHKにはない新しい挑戦が各所に感じられてとてもおもしろかった。カラフルというテーマにも合っていたし、きらびやかなセットもよかった。(60代女性)
- ・ 今回もとても楽しませてもらった。一部で対戦形式になっていない曲順だった所が少しだけ残念ではあったが、『カラフル』というテーマに沿った、すばらしい紅白だった。(20代男性)
- ・ 全体的にとっても楽しめた。舞台のセットもとてもすてきで、歌もしっかり聞けた。若い人など知らない人も多かったが、それはそれで、とてもよかった。(70歳以上女性)
- ・ 観客が入っていてよかった。これが紅白だと思う。(60代女性)
- ・ 川口春奈さんの故郷を通してSDGsに触れていてうれしかった。多くの国民が楽しみにしている紅白で、もっとこのようなことに取り組んでほしい。(40代女性)
- ・ 歌合戦と銘打っているのに、SDGsについてのコーナーなどは本当に必要なのか？(60代女性)

## ○出演者のベテラン、若手のバランスについて

- ・ 出演者が若い人ばかり。ロックやポップスばかりで、年配者の好きな演歌が少ない。来年の番組では演歌歌謡40%、若者向け60%の2部構成で放送してはどうか。(70歳以上男性)
- ・ 今回は、若者向けの騒がしい出演者が多かった気がする。もう少し、しっとり聞かせる歌い手も選んでほしい。(60代男性)
- ・ 少し選曲が若者向けすぎるかなと思う。今は、曲のジャンルも幅広いので難しいと思うが、今回の選曲は全国民が楽しんでいるとは思えない。高齢者の方々は正直今の紅白は楽しくないと思っているのでは？流行を追うことは大事だが、みんなの紅白であってほしい。(19歳以下女性)
- ・ 演出や企画物を減らして初心に戻っての紅白をもういちど見たい。2015年までの紅白歌合戦が本当によかった。だから、次回は若者をターゲットにするのではなく、しっかり老若男女問わず幅広く楽しめるような紅白を考えていただきたい。原点に戻ってほしい。(20代男性)

## ○フルコーラスで歌唱への希望など

- ・ 1年に1回の晴れの舞台で、フルコーラスを歌えない、短い曲しか歌えないのなら、放送時間を延ばすとか、出演者の数を減らすことも考えてみたらいいのではないかな。4時間30分もの番組なのに、フルコーラスを歌えないのはいかなものか。(70歳以上男性)
- ・ 上白石萌音さんの「夜明けを口ずさめたら」、演出はすばらしかったが、曲が短縮されていてショックだった。この曲は歌詞にとっても意味が込められていて、コロナ禍の中でとても勇気づけられる内容。それなのにカットしたのは残念。(40代女性)
- ・ 宮本浩次さんの「夜明けのうた」が短縮されすぎだ。東京湾から中継ということで期待して楽しみに待っていたが、あまりにも短く、残念でしかたない。歌手によって持ち時間が違い過ぎる。(50代女性)
- ・ 出演者とは別の企画で呼ばれたアーティストに疑問がある。せっかく正式に選ばれたアーティストより長く歌うのはおかしいのではないかな？選ばれた歌い手が優遇されるべきだ。(年代不明)
- ・ 氷川きよしさんが、美空ひばりさんの歌をカバーしたのも悪くはないが、紅白の舞台では、やはり氷川さんのオリジナル曲を歌ってほしかった。(70歳以上女性)
- ・ 山内恵介さんのファンだが、コロナ禍でコンサートも中止になり、生歌を聴くチャンスがない中、山内さんの持ち歌を聴きたかったのでとても残念だ。(60代女性)

## ○紅白の組み分け、多様性など

- ・ 司会を紅組、白組と分けずに両方の司会という位置づけにしているととてもよかった。さらにLGBTに対しての配慮をするのであれば、男性と女性で組をわけのではなく、出場歌手が決まったら甲子園の組み合わせのようにクジで紅組、白組を分けるのはどうか。歴史ある番組なのですぐに変更することは難しいと思うが、いつかは男女関係ない組にしていきたい。（20代女性）
- ・ 世界はジェンダーレスだ。伝統である紅白歌合戦のタイトル名のみ残して、白組紅組で勝敗を競うのをやめればよいのではないかと。（50代女性）
- ・ 男女という枠組みを取り払い行われると思っていたが、結局、投票で赤を女性、白を男性としたのが残念。来年からは、混合チーム対抗での紅白歌合戦を楽しみにしている。（40代女性）
- ・ カラフルをテーマにしているが結局は紅か白か、女か男かで分けてしまっている。本当にカラフルを意識するなら男女は関係なく、合戦にもせず、年末歌大会のような形にリニューアルすると良いと思う。性別や肌の色に左右されない、みんなが楽しめる番組を目指してほしい。（30代男性）
- ・ やはりこの時代、男女で紅白に別れることには、いよいよ違和感を覚えた。そろそろ男女混合で組分けをし、相撲のように東西など、新しい組分けを考えたほうが良いと思う。（50代女性）
- ・ もう白が勝った、紅が勝ったという時代ではないのではないかと。（70歳以上男性）
- ・ 紅白歌合戦は紅白に別れてよいのでは？ジェンダーなど意識しすぎてかえって逆効果だ。（年代不明）
- ・ 全く紅組と白組が対戦しておらず対抗意識ゼロ。紅白歌合戦も名ばかりで普通の他局の歌番組となんら変わらぬ構成にガッカリした。司会が紅組も白組もなく、優勝しても司会者が喜ばず優勝旗もなし。伝統ある紅白を壊さないでほしい。司会は両軍分けるべき。昔のように対抗意識のある番組に戻してほしい。（30代男性）

## ○新型コロナ対策関連

- ・ 結構、密になっていたのが心配になった。今はオミクロン株が出てきている。きちんと感染対策をしていることをもっとアピールしてほしい。（70歳以上男性）
- ・ 出演者が観客席を回り、距離も近い。コロナ対策がされていないように感じた。（20代女性）
- ・ コロナ禍で審査員席の間隔などいろいろと工夫をしていると思っていたが、YOASOBIの場面で、ダンサーの多さと密な感じに驚いた。あのダンサーたちの演出は、今のコロナの状況の中、世間へのメッセージとして適切なのか？（40代女性）



## ■【大河ドラマ】青天を衝(つ)け <全41回>

2021年2月14日(日)~12月26日(日)

総合 後8:00~8:45

BSプレミアム、BS4K 後6:00~6:45

※第1回、第40回、最終回は15分拡大

反響 12,553件 ※2月7日~12月28日で集計

(好評意見1,679件、厳しい意見1,921件、

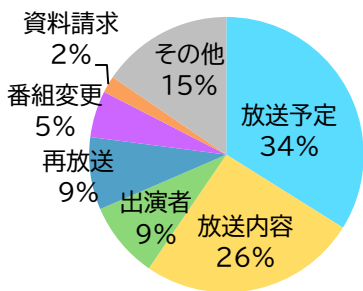
問い合わせ7,050件、その他の意見1,903件)



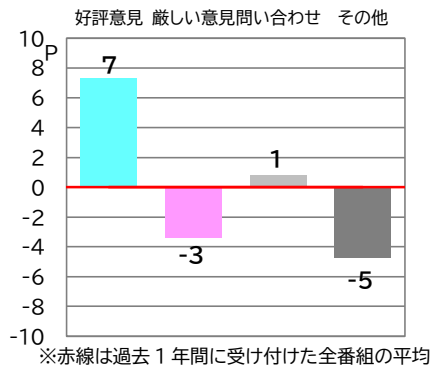
500以上の企業設立に関わり、「近代日本経済の父」と呼ばれる渋沢栄一(吉沢亮さん)。武蔵国血洗島村に生まれた少年が、草莽(もう)の志士から幕臣に転じ、明治新政府を経て実業家として日本のために走り続けた生涯を描きました。

放送開始が2月中旬、さらに東京2020オリンピック・パラリンピック期間中は放送が休止になったことなどから、12,000件を超える受付総数のうち、放送予定と再放送、番組変更に関連する意見や問い合わせが約48%と半数近くを占めました。好評意見の70%近くは女性から寄せられ、特に30代から50代を中心に広く支持を受けました。また、大河ドラマとしては初めて、NHKプラスで全話が配信されました。

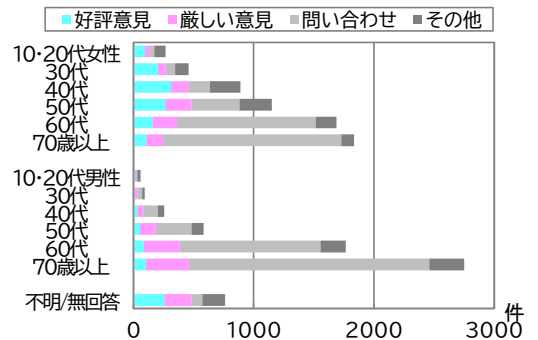
### ●受付内容の内訳



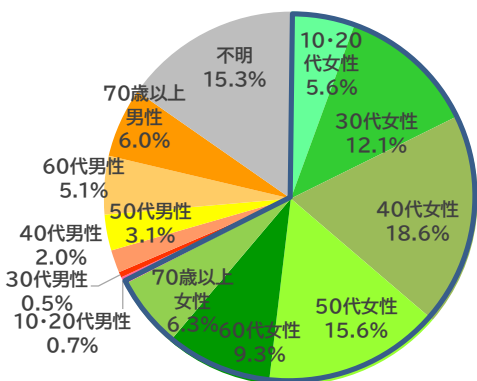
### ●意向種別の相対比較



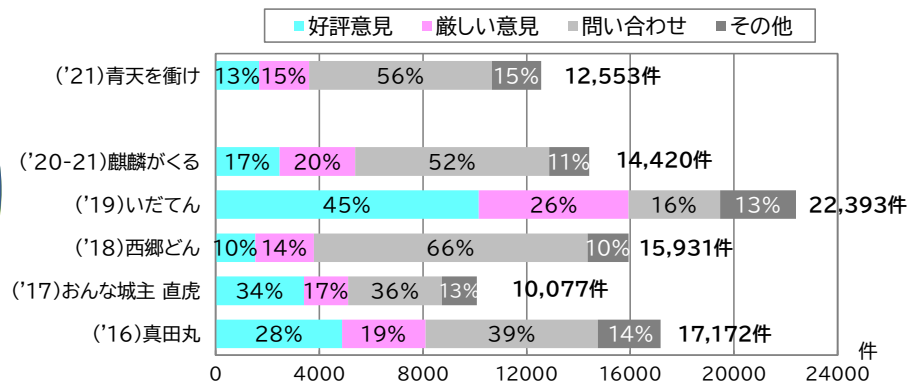
### ●意向種別×年代性別



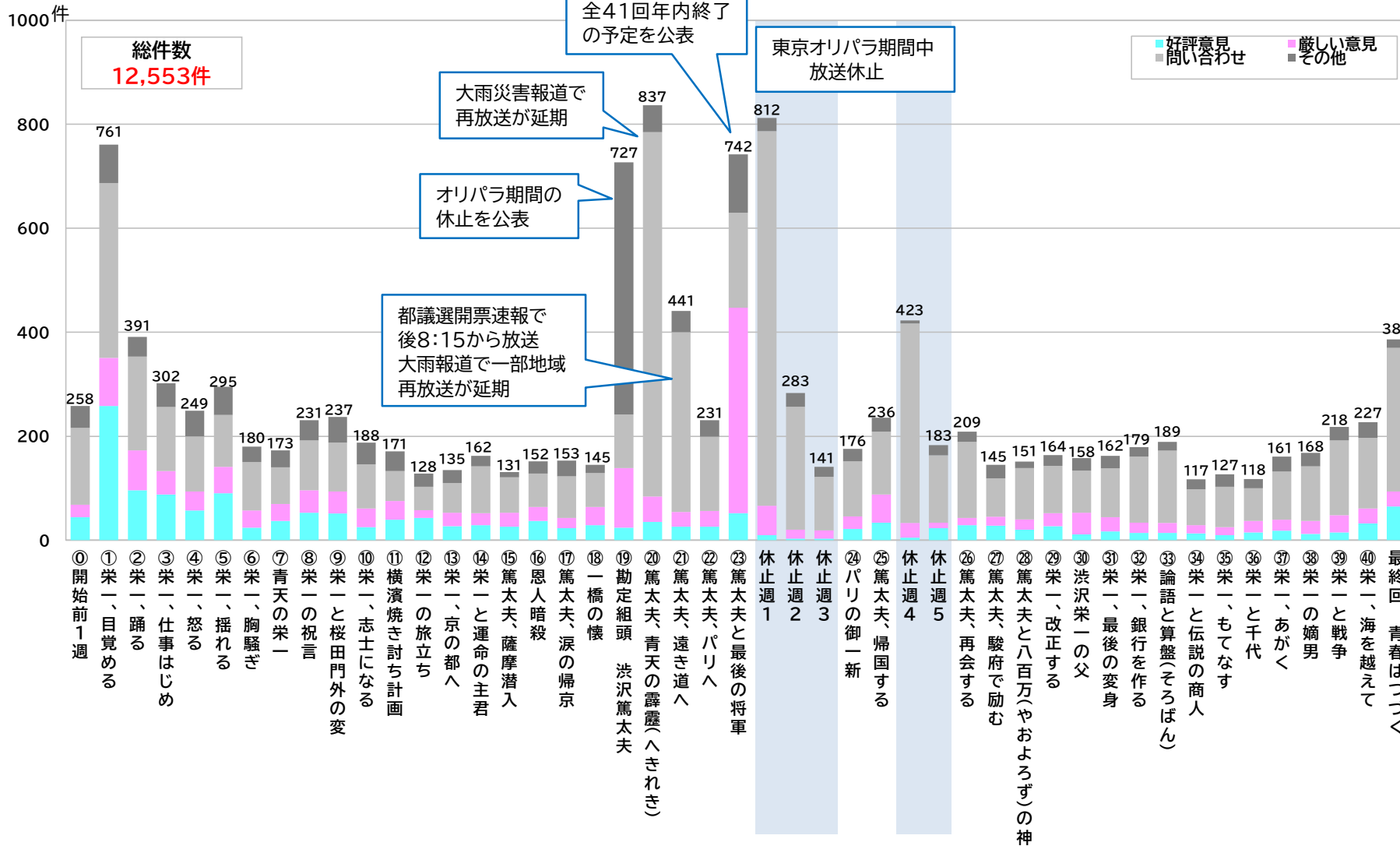
### ●好評意見の性別年代別の内訳



### ●過去の大河ドラマとの比較



●受付件数と意向種別の推移



放送期間中の受付件数と意向種別の推移をみると、東京オリパラ期間の休止情報や、全41回で年内終了の予定が伝えられた際などに、多くの意見や要望が寄せられました。実際に休止になった日と、大雨報道に伴う再放送休止の際には、問い合わせが相次ぎました。

## 【主な内容】

## &lt;好評意見&gt;

- ・ 大河ドラマをこんなに見逃さずに視聴したのは初めて。脚本がとてもすばらしかった。渋沢栄一も名前は知っていたが、あんなにいろんな事に尽力された方だとは知らなかった。 (60代女性)
- ・ 幕末明治の分かりにくい時代が実にすっきりとしてわかりやすく、傑作大河だと思っている。幕府目線、とくに一橋側からというのは新しい。 (50代女性)
- ・ 渋沢栄一から、今を生きる我々にタスキを渡されたように思わせるラストシーン、今までにない大河のラストだった。参った、今回の大河には。主役の吉沢亮さん、(作者の)大森美香さん、制作スタッフに感謝。あすの仕事を楽しみにさせてくれる大河だった。 (60代男性)
- ・ 今の日本は栄一が夢見ていた日本になれているのか、改めて考えさせられた。私自身も学生から社会人になり悩むことも多かったが、毎週『青天を衝け』に励まされた。 (20代女性)
- ・ 歴史は描く視点によってこんなにも違うものかと驚いている。吉沢さんの伸びやかですがすがしい演技、それに対する草薨剛さんの静謐(ひつ)な孤独の描きかた。すばらしい。 (60代女性)
- ・ 脚本、演出、熱演、音楽、どれを取っても秀逸で後世に残る名作だと思う。コロナ禍の現代と非常にリンクしており、毎回渋沢栄一翁の言動に励まされた。吉沢さんは27歳の若さで、実に繊細で迫力ある演技で心に響いた。この先が本当に楽しみな俳優さんだ。 (50代女性)
- ・ 徳川慶喜を演じる草薨さんの力は大変大きいと思う。もともと演技や独特のたたずまいが唯一無二の役者さんだが、毎回すばらしい慶喜を見せてくれた。 (50代女性)
- ・ この作品は現在に通じることを描いているなど常々思っていた。人々が「生きる」ということは、過去・現在、もしかしたら未来もそう変わらないのではないかと。だからこそ歴史を学ぶことは尊いのだと改めて感じた。 (40代女性)
- ・ パリ編は、CG技術を使っただけの撮影。見事に再現されていると思った。見ても違和感なく素敵な映像をありがとう。 (50代女性)
- ・ 私は視覚障害者で、副音声を使っているが、ナレーションが女性で、副音声は男性でとてもわかりやすくなった。以前はナレーション、副音声ともに男性だったので聞きづらかった。 (60代男性)

## &lt;厳しい意見&gt;

- ・ 前半は生き生きとしてよかったが、栄一が経済界の大立者になった以降は、個々のエピソードの掘り下げが少なく、栄一の心理描写も中途半端だった。 (60代男性)
- ・ 渋沢栄一は好色家で有名で、妻以外の女性との間に子どもが50人いたといわれている。今のこのジェンダーフリーの時代とかけ離れているような人を選んだのはどうかと思う。 (60代男性)
- ・ 妻以外の女性を部屋に連れ込むという不貞行為を容認しているようで、家族全員不愉快になった。こういう描写は避けてほしい。 (60代女性)
- ・ お蚕様のCGダンスシーンだけはちょっと苦手。 (30代女性)
- ・ 吉沢亮さんが年を取った年齢の設定になっても顔も声も若くて、若いころと変わらないことに違和感がある。娘や息子役の俳優さんと一緒にいても兄弟にしか見えない。 (70歳以上女性)
- ・ 国旗逆さま問題に抗議する。あまりにも国旗と、他国に対する敬意がなさすぎる。 (30代女性)

## ○東京オリパラ期間中の休止と全41回年内終了について

- ・ オリンピックで5週も放送休止とのこと。本当にガッカリしている。時間帯を変えてでも途切れないように放送してもらえないか？ (50代女性)
  - ・ 休止はしかたがないことかもしれないが、話数を減らすことなく放送してほしい。例えば45分を1時間に延長しても飽きることなく見られると思う。 (40代女性)
  - ・ 休止された分は、年をまたいででも全話放送するか、1週で2話連続放送するかしてほしい。 (20代男性)
  - ・ 年内で「青天を衝け」を完結させるのであれば、放送枠を拡大する、スピンオフ展開を行うなどのフォローを強く要望する。 (40代男性)
  - ・ 放送期間については関係者も考えに考えての結論だと思うが、話数が少ないぶん、DVD・ブルーレイについて、テレビでは放送されなかった部分も収録してほしい。 (19歳以下女性)
- ※オリパラ期間中の放送休止と全41回年内終了についての意見、要望、問い合わせは計2,754件  
(6月末～休止期間終了までの集計)

## ○番外編やスピンオフなどの要望

- ・ 話数が少なく明治編以降の展開が駆け足だったのがとても残念。描かれなかった部分を【外伝】とか【番外編】とか違った形でドラマ化してくれれば良いと思う。作中の『郵便事始め』がとても良かったので他にも『製紙業編』とか『鉄道編』とか見てみたい！また、魅力的なキャラクターが多数いたので【スピンオフ】で例えば小栗忠順とか見てみたい。渋沢栄一さんが1万円札の顔になるのは数年先なのでもっとドラマをやって盛り上げてほしいのではないかな。 (50代女性)
  - ・ 明治の一番活躍していた時期が早くてあっというまに過ぎてしまい、残念だった。主人公がはつらつとして元気だった明治時代を番外編として放送してほしい。 (70歳以上男性)
- ※同様の要望多数

## ○徳川家康の演出について

- ・ 徳川家康が出てきて要点をコメントする場面は大変よくできていて、とてもおもしろい。 (70歳以上男性)
- ・ 1回目は驚いたが、ドラマのよい案内役になっていると思う。 (40代女性)
- ・ 家康のナレーションはいらないのではないかなと思う。内容はもうみんな知っている事柄であり今回の大河ドラマではない人が出てくるのも変な感じ。 (70歳以上女性)
- ・ 家康の途中ナレーションは、興ざめなのでやめていただきたい。せっかくのストーリーが中断する。 (60代男性)

## ○公式ツイッターの「青天ナビ」について

- ・ とても参考になる。特に史実なのかどうなのかを知ることができてうれしい。 (30代女性)
- ・ 歴史があまり得意ではないので、大河ドラマは食わず嫌いなところがあったが、徳川家康とツイッターの青天ナビのおかげでぐっと理解度が深まっている。こんなに視聴者に寄り添ってくれる大河ドラマ、ほかにはなかなかないと思う。 (40代女性)
- ・ NHKプラス同時配信にて視聴した。大河は言葉が難しいから、いつも字幕ONで観ていたが、今日は思い切ってOFFにした。役者の顔をちゃんと見たくなったからだ。字幕がなくても理解できるか不安だったが、「青天ナビ」が頼りになった。 (20代女性)

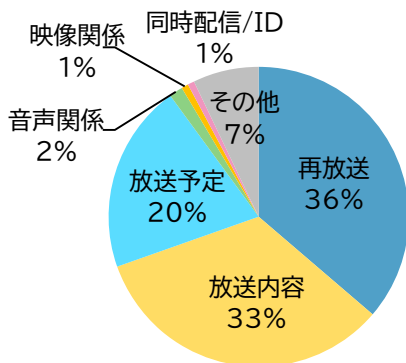
**■NHKスペシャル 新・ドキュメント 太平洋戦争**  
**「1941 第1回 開戦(前編)」**  
 12月4日(土) 総合 後9:00~9:49  
**「1941 第1回 開戦(後編)」**  
 12月5日(日) 総合 後9:00~9:49



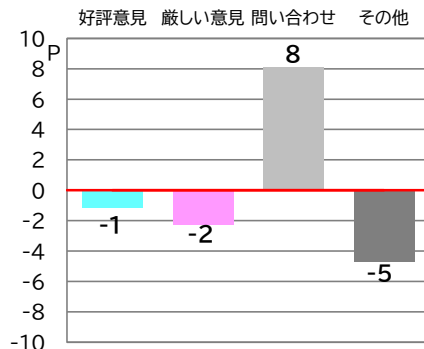
**反響 前編・後編計408件**  
 ※11月22日~12月31日で集計  
 (好評意見20件、厳しい意見67件、  
 問い合わせ259件、その他の意見62件)

太平洋戦争開戦から80年。「エゴ・ドキュメント」と呼ばれる当時の日記や手記から、戦争の新たな断面に迫りました。第1回は、「1941 開戦」。前編では、アメリカ文化に親しみを持っていた市民や、戦力の差も踏まえて日米開戦を避けようとしていた国の指導者たちがなぜ戦争へと向かっていったのか、その心の変化を見つめ、後編では、最前線の兵士たちの貴重な記録から戦場の実態、軍中央や銃後の国民との「温度差」を描き、結果的に戦争の長期化につながっていった実態を描き出しました。番組には、「今までにない戦争検証番組だ」、「細かい取材に感心させられた」などの反響が寄せられました。

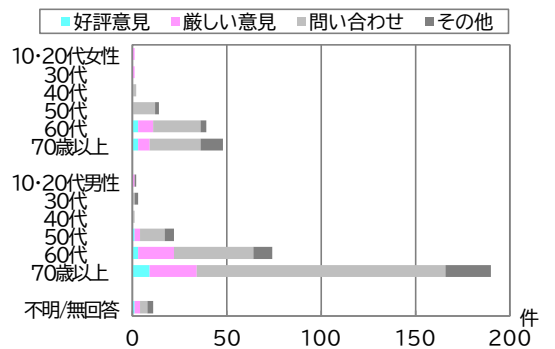
●受付内容の内訳



●意向種別の相对比较



●意向種別×年代性別



【主な内容】

<好評意見>

- この番組の、過去の市井の人々の日記から、開戦までの状況を言語的に可視化するという試みにひかれた。実際に見て、うなった。ITをこのように活用するのかという新鮮な驚きもあったが、あまりにも生々しい人間の変化に、その時代の怖さをあらためて思い知らされた。今までにない戦争検証番組だと思った。次回を心待ちにしている。(60代女性)
- 当時のさまざまな文献、手記などを細かく取材している。感心させられた。(70歳以上男性)
- 今までにない視点で斬新だった。ひとりひとりの視点で戦争の本質をとらえていて、非常によかったと思う。(60代男性)
- 今どきのSNSのような視点で、戦争がどう進んでいったか、国民の目から見た感じで分かりやすい構成だった。(60代男性)

- ・ 戦前生まれなので、とても興味深く見た。この時代を生きた者として、記憶が鮮明によみがえった。  
(70歳以上男性)
- ・ 開戦当時の国内の状況や、人々の考えがよく分かった。アメリカの人々は、当時、どのように考えていたのかも知りたくなった。  
(60代男性)
- ・ 勉強になる番組だった。NHKは、戦争について考える番組を放送する姿勢をぜひこれからも持ち続けてほしい。  
(70歳以上男性)

<厳しい意見>

- ・ 市民の日記から見るという新しい切り口でよかったが、年の表現が西暦だったのが少し気になった。私も戦争を研究する中で戦時中の日記を読んだが、当時は和暦で日記を書いていた。西暦も必要だと思うので両方入れたらよいと思う。  
(60代男性)
- ・ 「エゴドキュメント」という言葉が使われているがどのような意味なのか分かりにくい。「日記や手記」でいいのではないか？  
(60代男性)
- ・ 新しい切り口で、当時の国民感情などは面白かった。政府のプロパガンダにのせられた国民が描かれていたが、当時のマスコミに乗せられた側面もあるだろう。その責任についても追及してほしい。  
(70歳以上男性)
- ・ 当時の映像をカラー化していたが、ドキュメントなら、白黒のまま表現してほしい。  
(70歳以上男性)
- ・ BGMの音量が大きすぎる。内容が聞こえにくいので、検討してほしい。  
(60代男性)

## [参考データ]

## ■放送番組への意見

12月に放送や番組に寄せられた視聴者の声は77,932件でした。このうち番組に対する意見は30,141件で、好評と不評で分類すると好評意見が33.5%、厳しい意見は66.5%でした。

	10月	11月	12月	2020年12月
好評意見	36.4%	31.1%	33.5%	29.1%
厳しい意見	63.6%	68.9%	66.5%	70.9%

## ■受信料への意見 ※ふれあいセンター(営業)扱い分

	事由	件数
スタッフ関係	訪問員等の対応、説明不十分等	405
	訪問日、訪問時間に対する不満	0
受信料制度	受信料制度への不満・不公平感	61
	料金体系・料額への不満	16
事務処理関係	事務手続き(割引・返金等)の遅れ等による苦情	63
番組サービス	「番組内容が悪い」等の不満	19
その他	上記以外、営業活動や受信料について等	1,270
合計		1,834

## ■技術・受信相談への意見 ※ふれあいセンター(受信)、各放送局扱い分

事由		件数
受信不良		1,973
	一次対応	1,012
	個別受信設備不良	839
	共同受信設備不良	127
	建造物による受信障害	7
	雑音障害	37
	混信・難視聴など	2
	二次対応	961
技術相談(受信方法などへの問い合わせ)		723
合計		2,696